

【みんなで考えよう！特別支援学校教育とインクルーシブ教育について】(南部)



半世紀以上独自のやり方で障害者の支援教育を続けてきた
豊中市の支援教育を学ぼう！障害のある人もない人も共に
生きていく共生社会を作るために、支援教育のあり方とは！
そして、インクルーシブ教育とは！について考えよう

8/21 2024 水

13:00~16:00 (受付12時からです)

場 所 ワスあかしアスパシア明石北館
7階 704A,B学習室

13:30~14:30
第1部 豊中市の支援教育とは！

14:40~16:00
第2部 考えようインクルーシブ教育とは？

講師 尾上 浩二氏 (日本DPI会議副議長)

共催 明石市、明石市教育委員会、明石市社会福祉協議会

皆様、8月21日(水)13時からアスパシア明石北館7階の704A,B学習室で、豊中市の支援教育について講演会とシンポジウムを開催します！

豊中市では、身体障害や知的障害のある児童を健常者の児童と共に受け入れ、小中9年生の通常学級で教育を行っています。2022年9月に国連の障害者権利条約委員会が日本政府に対し、障害のある子どもに対する「特別支援教育の廃止」と「インクルーシブ教育の実現」などを含めた「勧告」を出しました。この勧告に沿った教育が既に豊中市で実施されているのではないかとの思いから今回、豊中市の教育委員会の方々にご来場いただき、講演していただきます。講演の後は、明石市障害当事者等団体連絡協議会の各障害者団体の代表者と日本DPI会議副議長の尾上浩二氏を含めてシンポジウムを行ない、今後の明石市の障害児の支援教育はどうあるべきかを討議します。

是非、お越しく下さい。参加費無料です。

＜賛助会員募集＞

こころの病いに苦しむ方々の地域支援を主目的に賛助会員を募集します。その趣旨を下記に説明します。

1. 明石市近郊にてこころの病いに苦しむ方々のために何が出来るかを考え、そのための資金として活用します。使途も明確にします。
2. こころの病いに苦しむ方々への病気に対する知識、リカバリーのための講習会の開催を目指します。
3. 賛助会員になって頂いた方には、明石ともしび会ニュース、総会資料等を配布します。
4. 明石ともしび会ニュースにて賛助会員をご紹介します。
5. 総会にて、賛助会員のご紹介と賛助金の使途について、ご報告致します。

会費納入方法は、同封の手数料無料の郵便局の振込用紙にてお願いします。

口座記号及び口座番号:00980-7-166023

賛助会員:(個人)入会金0円 年会費1,000円・(法人)入会金0円 年会費10,000円

お問い合わせ先 NPO法人明石ともしび会 理事長 南部 和幸

〒673-0871 兵庫県明石市大蔵八幡町7-11

電話番号 078-912-4433 (さくら工房) 携帯電話 070-1345-8997

E-mail sakura_koubou6687@car.ocn.ne.jp



編集後記

パリオリンピックが始まり、種目によってはいくつかのハプニングもありましたが、日本は多くのメダルを獲得しています。8月11日(木)まで様々な競技で熱い熱戦が繰り広げられます。また、8月28日から9月8日に渡ってパラリンピックも開催されます。皆さんの活躍を応援したいと思います。

プロ野球もいよいよ後半戦、そし高校野球も始まり、スポーツ観戦に熱が入ってしまいそうです。夜遅くまでテレビ観戦して寝不足にならないように、体調管理に気を付けましょう。(南部)